

給水原価（製造コスト）と供給単価（販売価格）の状況

平成26年度決算に基づく「給水原価」、「供給単価」（※）は次のとおりです。

前年度と比較すると、平成26年度は年間給水量が約106千 m^3 減少しましたが、経常費用が微増となったことから、給水原価が1.55円上昇し、供給単価との差額は、9.58円となりました。

今後もより一層、経常費用の圧縮や収入確保に向けて検討し、効率的な経営となるように努めていきます。

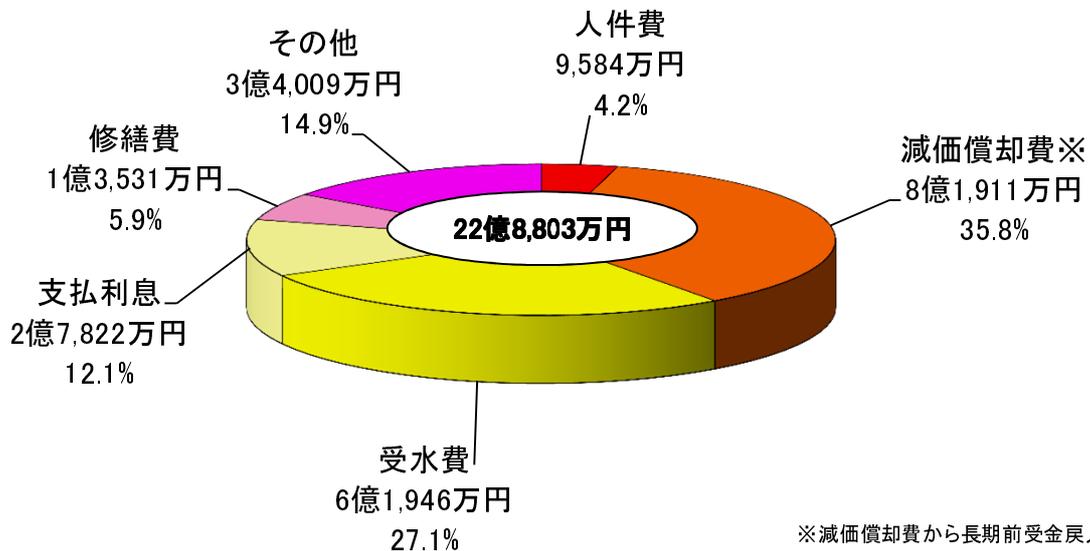
給水原価 =	経常費用	22億8,803万円	= 204.48円/ m^3
	年間給水量	11,189,669 m^3	

供給単価 =	料金収入	21億8,088万円	= 194.90円/ m^3
	年間給水量	11,189,669 m^3	

※ 給水原価：みなさんに水道水をお届けするのに必要な1 m^3 あたりの費用（製造コスト）

供給単価：みなさんの水道料金1 m^3 あたりの平均単価（販売価格）

平成26年度経常費用の内訳



給水原価と供給単価の推移

